

おごせ教育 Pick up

令和4年度 越生町の学校教育

越生町では、知・徳・体の調和（生きる力）のとれた教育を実践することを目標としています。令和4年度、重点を置いて取り組むことを紹介します。

1 確かな学力の育成（知）

昨年度から、新しい学習指導要領が完全実施となりました（小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から完全実施）。越生町では、新しい学習指導要領に、2学期制や土曜授業日の特色を生かし、越生ならではの教育に取り組んでいます。

(1) 授業時間数の確保
越生町は、2学期制や土曜日授業で生み出した時間を活用し、6時間



ALT が行う英語授業

の目を増やしたり、行事を減らしたりせず、教育課程を編成しています。今後も児童生徒の確かな学力の定着を目指して、これらの取り組みを継続していきます。

(2) ALTの複数配置
ALT（外国人英語助手）を各常駐配置に加え、非常勤ALTを1名配置することで、英語教育の充実を図っていきます。中学校卒業時には、英検3級以上取得50%以上を目指します。

(3) 35人以下学級の継続

越生町では、平成25年から35人以下学級に取り組んでいます。令和3年度から令和7年度にかけて国は小学校の35人以下学級を段階的に行っています。越生町は、小・中学校全年で35人以下で取り組み、きめ細やかな指導を行っていきます。



家庭と繋いだオンライン授業

2 豊かな心の育成（徳）

不登校ゼロ、いじめ解消100%を目指して取り組んでいます。

(1) さわやか相談室・適応指導教室の充実
適応指導教室（図書館2階）やオンライン学習を有効に活用し、指導体制を充実させていきます。

(2) 体験活動の充実
豊かな心を育成するため、越生町の特色を生かした、体験活動の充実を図っていきます。



小学校の給食の様子

(4) タブレットパソコン導入
令和2年度に児童生徒に1人1台のパソコンが整備されました。ICT機器を効果的に活用し、多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図っていきます。

3 健やかな体の育成（体）

越生町の児童生徒は、新体力テストの結果で、毎年県の平均を上回る、大変良い成果をあげています。

(1) 生活習慣の充実
「家庭生活・家庭学習のすすめ」リーフレットを活用し、生活習慣の充実を図ります。

(2) 望ましい食習慣の確立
給食日本一の実績を生かし、食育の推進を図ります。

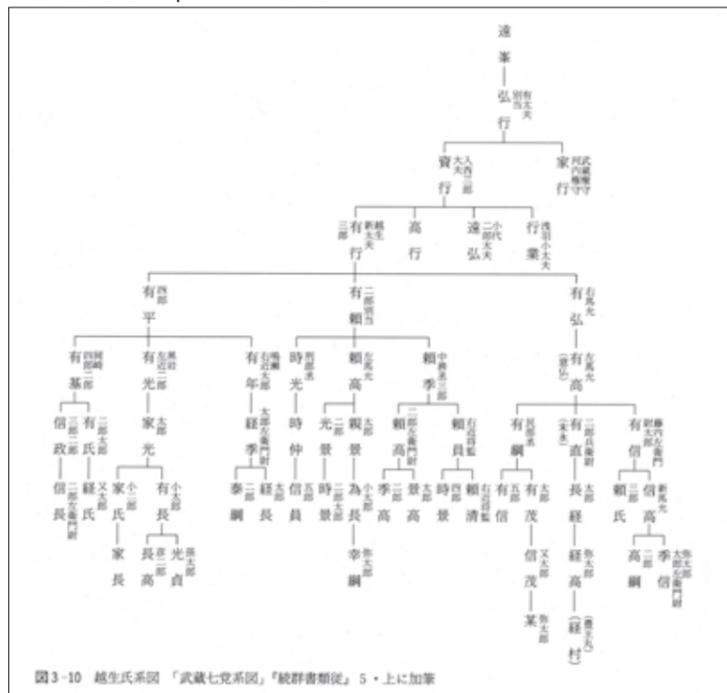
越生浪漫 No.158

NHK大河ドラマ
「鎌倉殿の13人」と越生③



北条義時 (wikipediaから引用)

北条氏の執念
源頼朝の死後、北条時政（演・坂東彌十郎）や子の義時（演・小栗旬）ら北条氏は、2代將軍の頼家に重用されていた比企氏一族を滅亡させたほか、数々の有力御家人たちを排除して要職を独占していきました。時政の策略によって頼家も暗殺され、北条氏は次將軍に頼家の弟でまだ



越生氏系図(『越生の歴史 | < 原始・古代・中世 >』から引用)

幼い実朝を擁立し、幕府の実権をにぎる「執権」に就任、地位を確立させました。

2代執権・義時と朝廷
承久3年（1221）5月、京都では後鳥羽上皇が朝廷勢力の巻き返しを図ろうと、義時に対して討幕の兵を挙げました（承久の乱）。

越生氏と承久の乱
同年6月14日、上皇方と幕府方最後の戦いとなった宇治

合戦が、京都の宇治川で始まりました。鎌倉幕府編さんの『吾妻鏡』には、越生（小越）氏が幕府軍として参戦し、小越四郎（有平）が一人、小越四郎太郎が二人、小越右馬太郎が二人を打ち取ったと記されています。この戦いで勝利した幕府は、没収した西国の所領や地頭職を、戦功があった御家人たちに与えました。越生氏が



兵庫県豊岡市と加古川市

獲得した西国所領は、宝治元年（1247）の有高から有直への譲渡状にある、但馬国日置郷と播磨国賀古庄天王寺領です（『法恩寺年譜』以下『年譜』）。

「但馬国日置郷」
現在の兵庫県豊岡市日高町日置の地で、『年譜』によれば、有高、有直、長経、経村に相続されています。弘安8年（1285）作成の土地台帳「大田文」に「日置郷百四十六町七反百九十四分」の地頭に「越生平兵衛太郎長経」と記されていることから、越生氏が鎌倉時代後期まで地頭職を保持していたことが確認できます。

「播磨国賀古庄天王寺領」
現在の兵庫県加古川市南部にあった荘園で、天王寺領とは聖徳太子開基の伝承をもつ刀田山四天王寺聖霊院（現鶴林寺）の寺領を指すものと考えられています。

賀古庄内の長砂村に館「長砂構居」（加古川市野口町長砂）を構えた越生氏は、越生市右衛門が領主を務める安土桃山時代に、織田信長軍の武将・羽柴秀吉（豊臣秀吉）が行った播州征伐に敗れて以降、史料に現れていません。